モザイク:

複数の画像をつなぎ合わせて、一枚の画像にします。

*対象画像すべてになんらかの投影情報が備わっていることが必要です。備わっていない場合は、 事前に「座標付加」(2章)、または「幾何補正」(7章)をおこなってください。



- · 📑 から複数のXDMファイルを呼び出します。 各座標情報をもとに自動で位置合わせして繋がります。
- ・各画像のヒストグラムを合わせたい場合は、"Histogram Match"にチェックを入れてから、実行します。
- ・画像の隅にブランク部分があり、それらを除外してモザイクする場合は、
 "Transparent Value"に0を入れてから、実行します。
- ・必要な場合、 枠内で、出力後の投影法、解像度、変換手法を設定します。





・まず、"File"から、境界線の対象となるファイルを選択し、"Mode"から切り出し方法(5パターン)を選択します。 切り出し方法の詳細は、同項3ページ·

A:「新規にポリゴンを描き利用する場合」

New を押してから、左側の画面上にポリゴンを描きます。ダブルクリックで決定。 続いて、 リストに記載されます。

B:「既存のポリゴンを利用する場合」

続いて、 Selector を押してから、以前にAで作成したポリゴンか、別のベクタデータを読み込みます。 リストに記載されます。



ポリゴンを利用して画像をお好みの矩形で切り出します。

A:「新規にポリゴンを描き、利用する場合」

🕲 Mask - [daejon_komsat.xdm]	×
Parameter Bar 4 × 2000 Control	×
Input Image Input File: daejon_komsat.xdm Info Display Band: Band1 Mask Area RoI_0 RoI_1 Add Vector Selector Delete	
Mask Operation Mask Mode : Inside OR Blank Value : 0,000	
Ready 772, 12 356723.0575, 4032852.0961 71.0000].::

リストに記載されます。 リストを選択し、 Delete から削除できます。

・"Mask Operation" 欄で、切り出し方法(6パターン)を選択できます。Blank Valueでブランク値指定できます。













B:「既存のポリゴンを利用する場合」





解像度の変更をしたり、簡単な切り出しをおこないます。ファイルサイズを節約するなどに便利です。

A:「解像度を変更する場合」

SPG-STEAMER 4.1 RTP		
		4
ଡ ୬ ii 2 îi 1i 🖬 💽 💽 🌘	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
🍄 Resize Image - [daejoe_fem_smooth.xdm]		
Be Dew Handow Heb		- 8 ×
Parameter Bar a Input Image Input File: debion_dem_smooth.xdm File Info		
X.Runge: 0 ~ 1764) Y.Runge: 0 ~ 1878)	10.00	
X.R ange: 347594.8125 ~ 365244.8125) Y.R ange: 4012335 ~ 4031125)	201.2	er . 3
Output Pixel Size Unit O Pixel O Map Deg DMS	 NR 	C. 76
Pixel Size X: 100 Y: 100 Dimension X: 176 Y: 187	Sec. 1	K
C Resample Method	Contraction of the second second	And Include the second
Nearest Neighbor O Blinear O Cubic Convolution Blank Value:	1000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
Ready	1054, 1189 358139.5898, 4019230.0901	129.1074 .::

・ここでは、解像度を10Mから100Mに粗くし、ファイルサイズを下げました。左がオリジナルで、右が結果。

· Resample Method 欄で、補完手法やブランク部分の値を設定できます。

B:「簡単な切り出しをする場合」

🎱 Resize Image – [daejon_d	dem_smooth.xdm]		
Elle View Window He			- 8 ×
Parameter Bar	⊑ ц ∓ × ≫		»
Input Image			
Input File: dation_dem_smooth	n.xdm File Info		
X Range: 139	~ 1161)		
Y Range: -184	~ 837)		<u>8</u>
World Range			
Y Range: 4022745	~ 4032965)	Maria Charles W	STATISTICS AND A
			A COMPANY OF A
Output Pixel Size			C REAL PROPERTY AND
◯ Pikel ⓒ Map	O Deg O DMS	1.5.50 200	111700
⊙ Pixel Sze X: 100	Y: 100	CONSIGNATION OF THE	E The second
Dimention X: 102	Y: 102		A REAL PROPERTY OF
C Resample Method			
 Nearest Neighbor Bilinea 	ar 🔿 Cubic Convolution		
Blank Value: 0			
Popdy		250000 6020 402	9504 2244
(codd)	0,0	00000510525, 100	
· Select	Sub Region ダイアログで	、切り出し範囲の指定((4パターン)をおこないます。
lect Sub Region			
Input Original Image Information -	(A)		
Pixel Coord: X Range : (0, 1764)			A:手動で黄色枠を縮める
YRange: (0, 1878)		STOLES IS	201
_ World Coord		1. SREE 1.	
X Range : (347594.812500), 365244.812500)	Section and the	
Y Range : (4012335.00000	0, 40 5,000000)		重ねて、その共通範囲
Rese		1	を利用する。
Input Subset Pixel Coordinate -		1 22 2	
C X Range : 139	, 1161	R Standard	C:ピクセル座標で指定。
Y Range : -184	, 837	it i etter the	lease -
O Input Subset World Coordinate			
D X Range : 348994,81249979	4ε , 359224.81249986		リ、測地糸座標で指定。
	1.1 4000074 0000004		
1 Kunge 1 4022744.9999998	57 , 4032974.99999991		

・のちに鳥瞰図でDEMと画像を重ねる場合、パターンBで両画像のエリアを統一しておくと便利です。

・パターンC、DO	D場合、指定後、	Apply Edited Coord	で決定する必要があります。
・4パターンとも、	Reset	で指定したものをリセットできます。	